

PET-CT 検査説明書

検査日は 月 日 () 時 分

検査予約時間の40分前に「紹介患者受付」(1階正面玄関に入って左側)で手続き後、
「放射線科(12番)」へお越しください

正しく検査するためにお守りいただきたい重要な事項を記載しています。他検査に比べ注意
していただくことが多いので、よく読んでご不明な点はお問い合わせください。

また、予約時間に来院できない場合は、必ず地下総合受付までご連絡ください。

PET 検査について

^{18}F -FDG による PET 検査は、放射性同位元素(^{18}F :フッ素18)を標識した FDG(フルオロデオキシグルコース)という薬剤を注射した後に撮影を行い、体内の糖代謝の状態を見ることで、がんなどの疾患を診断する検査です。 ^{18}F -FDG の副作用の心配はほとんどなく、現在までに重篤な副作用の報告はありません。この薬剤は、放射性医薬品のため放射線による被ばくが少しありますが、胃の X 線検査や人が 1 年間に自然界から受ける放射線量と同程度であり、健康に悪影響はありません。まれに薬剤注入時の血管運動反射に伴う不快や血圧降下が起こることがあります。

食事について

- 検査予約時間の5時間前から絶食です。糖分を含む飲料、ガム、飴などもご遠慮ください。
- 水分は積極的に飲んでください。



食事全般



サプリメント・健康食品



ガム・アメ・トローチなど



糖の入っていない水・お茶
(緑茶、麦茶、ウーロン茶)

内服薬について

- インスリンは絶食している間は中止してください。
- ビグアナイド系糖尿病薬(メトホルミン等)の内服は、可能な限りで4日前から検査終了まで中止してください。
- ドライシロップ、漢方薬、トローチなどの糖分を含む薬剤も絶食中は中止してください。
- 上記以外の常備薬はいつも通り内服してください。

その他注意事項

- 検査前日から検査終了まで激しい運動、労働、マッサージや整体などはやめて下さい。
- 妊娠中の方は検査できません。可能性のある方はお申し出下さい。
- オムツ、尿パッド使用中の方は替えの準備をお願いいたします。場合により検査前に新しいものに交換していただくことがあります。また導尿中の方は導尿セットをご持参ください
- 検査薬剤は、使用期限が短い薬剤のため保存することができません。毎日、製薬会社より陸送で供給を受けます。道路状況や天候の変化などで到着しなかった場合や機器トラブルの際には中止せざるを得ない場合もありますので、ご了承ください。
- 付き添いの方は、介護の必要な場合お手伝いをお願いすることがあります。

検査当日

- 持ち物は、水かお茶が入ったペットボトル(500cc)、封筒(検査依頼書、問診票、同意書、指示書)、マイナンバーカード(または資格確認証)、当院の診察券(ある方のみ)、お薬手帳 です。
- 検査着に着替えてもらいます。金属製の物を身に付けたり持ち込まないようにして下さい。
(ヘアピン、時計、貴金属類、入れ歯、補聴器、クリップ、心電図用電極など)
- 来院時は、時間に余裕を持ってお越しください。走ったり、自転車をこいだりしないように注意してください。
- 当日に採血、採尿がある場合は必ず検査前に済ませてください。
- 車いす移送や介護を必要とする場合、検査中の付き添い、介助をお願いいたします。

検査当日の流れ

- 放射線科には予約時間の30分前にお越しください。問診票の確認や更衣などの準備をしていただきます。時間厳守をお願いします。検査薬の性質上、遅れると検査できないことがあります。
- 血糖値確認後、検査薬の注射を行い、1時間程度安静後に約30分の撮影を行います。
- 撮影後再度 40～50 分間程度安静にいただき、15 分程度の撮影を行います。
- 約3時間の検査になります。

1. 検査前



当日は検査5時間前から絶食をお願いします。水やお茶（糖分を含まない）は普段より多めに飲んでください。

2. 受付



検査 30 分前に地下総合受付までお越しください。

3. 問診



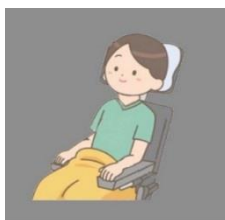
看護師が病歴や当日の体調などを伺います。

4. 注射



処置室にて看護師が血糖値を見るために採血をします。その後、検査薬を静脈に投与します。

5. 安静



安静室で約 60 分すごしていただきます。検査薬が体に吸収されるのを待つ時間です。できるだけ安静に過ごしてください。薄暗い部屋での安静となります。

6. 撮影



約 30 分間、撮影台の上で横になります。特に呼吸を止めるなどありませんが、撮影中は動かないようご協力ください。

7. 待機・撮影



再度、安静室にて 50 分程度安静にして下さい。その後、追加で 15 分程度撮影します。

8. 帰宅



着替えの後、お帰りください。車の運転や仕事への影響はありません。

検査後の注意事項

- 検査後も当日は多少の放射線が出ています。当日は乳幼児や妊産婦との長時間の接触(抱っこなど)はできるだけお控えください。
- 授乳中の方は、検査後 24 時間は授乳を避けてください。
- 検査薬の排泄を促すため、水分を多めにとってください。
- 検査翌日以降は普段通りにお過ごしください。

神経損傷のリスク

FDG の注射の際に針が細い神経に当たることがあり、通常よりも強い痛みが生じ、しびれ感や痛みが生じることがあります。ほとんどが数日から数週間で治りますが、極めてまれ(1万～10万回に1回程度)に症状が長引き、手の動きに障害が残ることがあります。

PET 検査の限界

- PET 検査は、がんの発見に非常に優れた検査ですが、1cm以下のがんや腎臓や肝臓などの特定の臓器や部位によっては発見が困難な場合があります。
- 血糖値が 150mg/dL を超えると腫瘍への FDG 集積が低下し、検出しにくくなります。検査直前の血糖値が 200mg/dL 以上の場合には診断能力が低下するため、検査を中止することがあります。

検査データの医学的活用について

PET 検査により得られたデータは、今後の医学発展のため利用させていただくことがありますが、その際は個人情報の保護に十分配慮し、個人特定されることのないように致します。

PET 検査のキャンセルについて

- PET 検査に使われる検査薬剤は、高額(約5万円弱)かつ有効期限が非常に短い特殊な薬剤で、他の方には使用できません。
- 患者様の都合により検査をキャンセルされる場合や感染症(インフルエンザ、コロナなど)に罹患した際は、検査が出来ないため前日の 12 時までに必ず

藤枝市立総合病院 地下総合受付 直通電話 054-646-1191(土日祝 054-646-1111 内線 5373)に連絡ください。急なキャンセルなどの場合、所定のキャンセル料をいただく場合があります。

なお、紹介元医療機関にもキャンセルしたことをお伝えください。紹介元を通して再調整を行います。

以上の点をご理解いただいた上で、PET 問診表、検査同意書にご署名をお願いします。